

府中市が進める インフラマネジメントについて 【平成25年度】

府中市 都市整備部管理課

課長 松村 秀行

tosikanri01@city.fuchu.tokyo.jp

- インフラマネジメントとは
- インフラマネジメントの仕組みについて
- 平成25年度の取り組み

インフラの規模

検討対象施設	分類	管理数量	単位	備考
道路	車道延長	420.569	km	路面性状調査結果
	歩道延長	165.060	km	現地調査結果
橋梁	車道橋	23	橋	橋梁台帳の再調査、目視点検結果
	歩道橋	14	橋	
立体横断施設	ペDESTリアンデッキ	2	橋	府中駅付近、府中本町駅付近、西府駅付近、 分倍河原駅付近ほか
	エレベータ	7	基	
	エスカレータ	4	基	
街路樹	市道	10,744	本	航空写真測量および現地補足調査結果
	グレーチング	1,854	箇所	
案内標識	施設表示	803	基	現地調査結果
街路灯	交通安全灯	7,049	基	街路灯交換記録台帳調査ほか
	防犯灯	10,300	基	
公園	都市公園	270	箇所	公園現況整理の確認結果
	広場	40	箇所	
	スポットパーク	35	箇所	
	府中多摩川かぜのみち	1	箇所	
	公共植栽地	22	箇所	
	その他の管理地	26	箇所	
下水道	北多摩一号処理区	2,505.7	ha	下水道マスタープランデータ
	野川処理区	219.5	ha	

※下水道管路延長:約740km

インフラ管理の課題

- 高度経済成長期(昭和30年代～40年代)に整備したインフラは、老朽化により一斉に更新時期にきている



- 「今後の更新費用の増大」と「市の収入の減少」により、市では、これまで通りの管理方法でインフラを維持することは困難



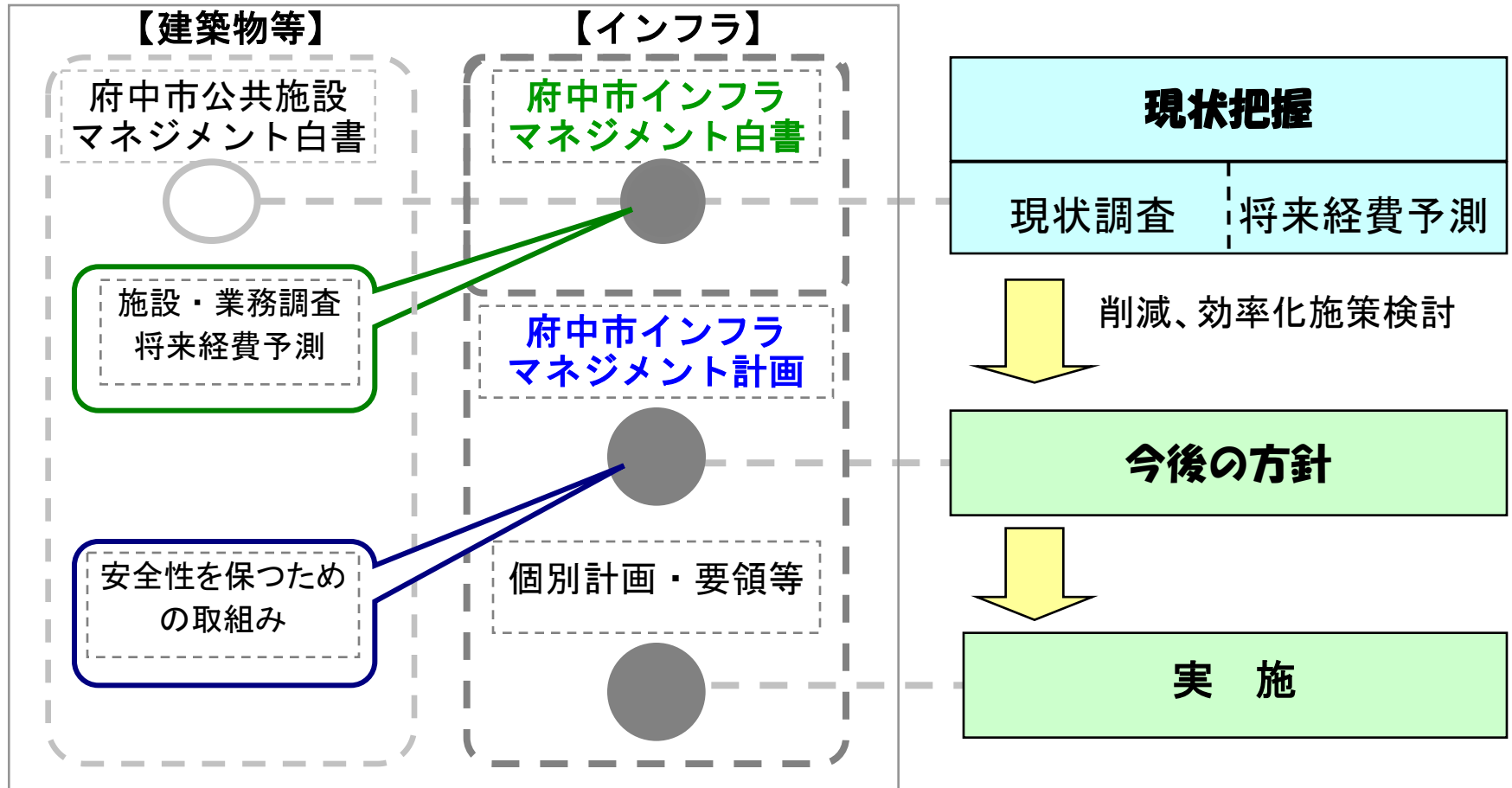
- 市の財政状況を踏まえ、安全なインフラの維持のため、「インフラマネジメント」に取り組むことが必要



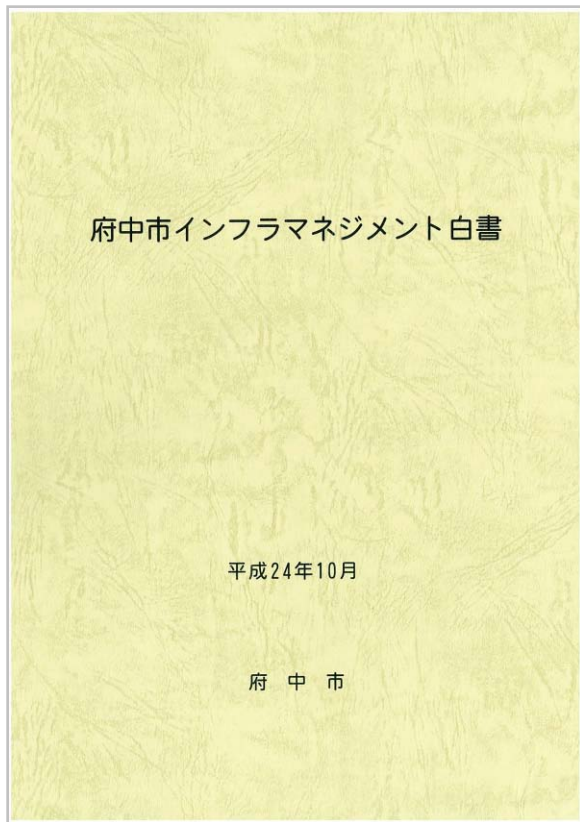
- インフラマネジメントとは
- **インフラマネジメントの仕組み**
- 平成25年度の取り組み

インフラマネジメントの位置付け

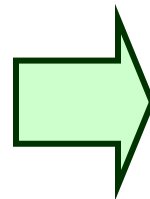
公共施設全体



インフラマネジメント白書



- インフラの現状調査
- 現状を継続する場合の経費の試算
- 現状の課題抽出
- 方向性の提示



インフラマネジメント計画へ

インフラマネジメント計画について

府中市
インフラマネジメント計画



平成 25 年 1 月
府 中 市

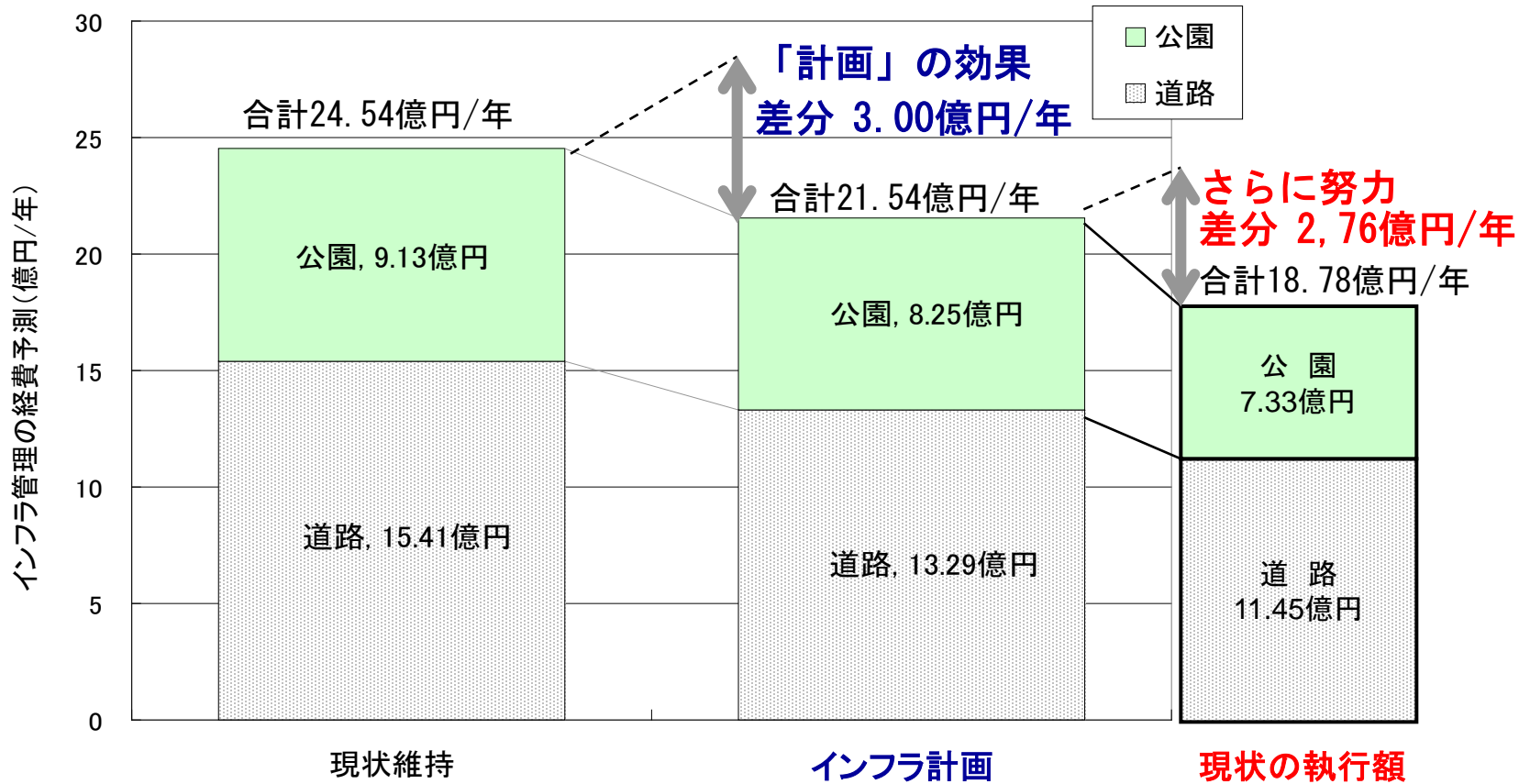
● 市（行政）は

- 計画の施策を実行し、業務効率化を更に進めます
- 道路や公園などの新しい管理のやり方を考えます（効率的な作業や経費削減）
- 地域の皆さんに協力してもらえらる制度を進めます

● 市民の皆さんには

- 行政の努力に加えて、市民の協力が必要です
- 地域のために、管理活動にご協力をお願いします
 - 自治会との管理協定に基づくパトロール、清掃など
 - 管理ボランティア制度への参加
 - 不具合の通報
……など

インフラ管理経費の試算結果



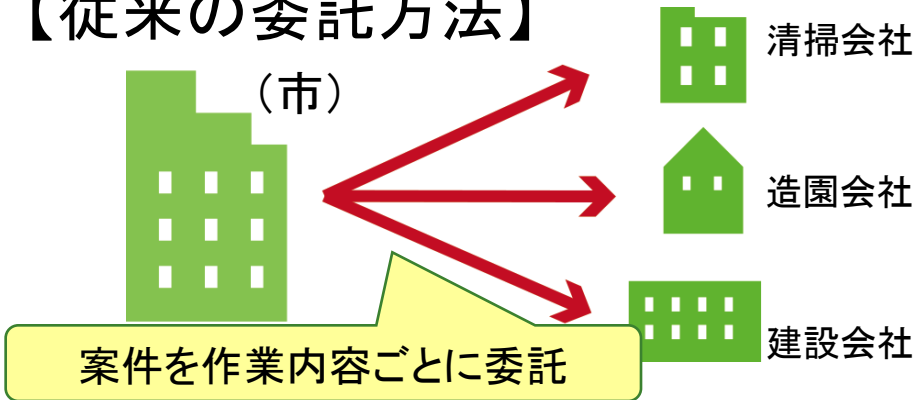
- インフラマネジメントとは
- インフラマネジメントの仕組み
- **平成25年度**の取組み

平成25年度の取り組み

- 道路の包括管理委託の試行
(パイロットプロジェクト)
- 管理ボランティア制度(アドプト制度)の導入
- 日常管理対応の見直し
- 手数料の見直し

道路包括管理委託：範囲

【従来の委託方法】



【試行する委託方法】

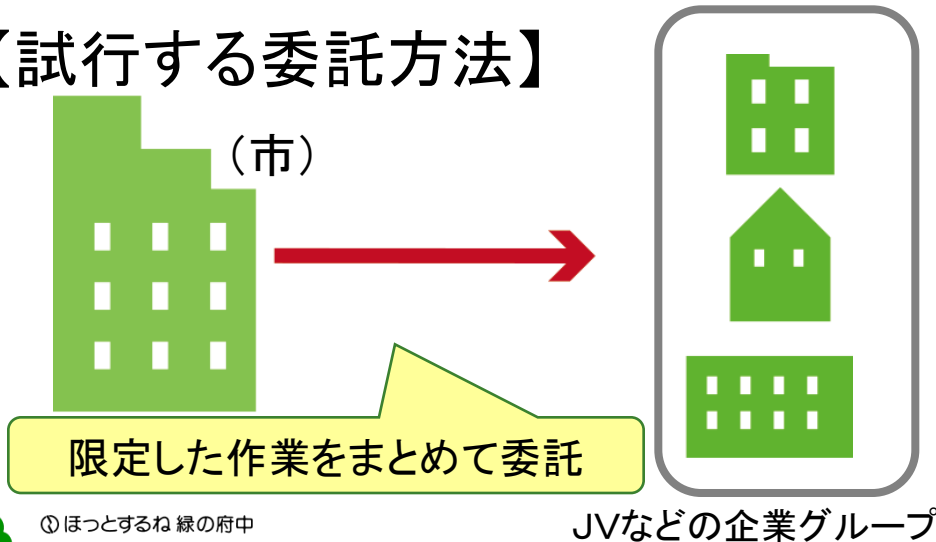


図 平成26～28年度の試行範囲

試行期間に検討する効果

■ 年度ごとの検証事項(→期待する効果)

【行政内部の効果】

- 財務的效果(→経費の節減、事業者の利益確保)
- 市民サービス(→従来より向上)

【事業者との関係における効果】

- 市の職員との責任分担(→できるだけ民間に移管)
- 市職員と企業の連携(→役割の変化)

【市民との関係における効果】

- 市民の責務(→市民の自発的な参加による管理作業の軽減)

パイロットプロジェクト: 今後の展望

■ 【スケールメリットによる利益確保】

- 対象とする作業項目を拡大する
- 適用市域を拡大する(地域を分割して担当)
- 管理経費を節減する
- 事業者の利益に配慮する

■ 【市民との協働実現】

- 事業者や市民による作業をサポートする

■ 【市民サービス向上】

- 事業者のアイデア、新技術などを積極的に活用する



市民の自主的な解決を期待

管理ボランティア(アドプト)制度の導入

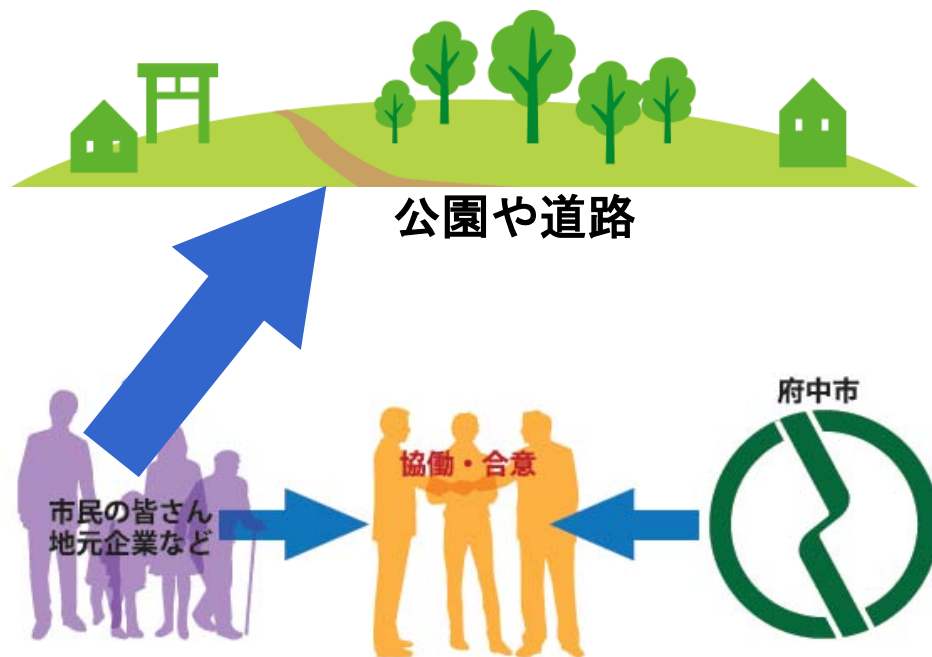
府中市周辺の状況

近隣市の多くはボランティアによる清掃活動を導入しています(緑文字の市)



※緑文字の市:アドプト制度を導入
※黒文字の市:アドプト制度が未導入

公共施設管理ボランティア制度のしくみ



ボランティア制度の活動は、やりがいと楽しさを重視したものにしたいと考えています。

管理ボランティア(アプト)制度の導入

将来の道路や公園の清掃や点検は、ボランティア制度に移行します

これまでの清掃活動

委託費でほうき、ちり取りなど
清掃用具、ごみ袋の準備

活動中の事故等は
委託団体で解決

参加者が少ないときは
活動が大変

せっかく掃除しても
利用者にはわからない

1 団体で試行錯誤しながら
掃除をしていた

これからのボランティア活動

清掃用具、ごみ袋などは
市が用意します

活動中の事故等に対する保険加入では
保険代は市が負担します

事業者(会社)や学校等、これまで未参加の
団体も対象として参加しやすくします

サインボードを設置して、利用者にPRします
作業中の腕章をお貸しします(代表者のみ)

参加団体の連絡会議で市全体がつながります
みんなで情報交換し、活動を盛り上げます

検討中

日常管理対応の見直し、手数料の改定

● 日常管理対応の見直し

【従 来】

- 連絡があったすべての案件に対応

【見直し後】

- 緊急性、定期補修に応じて対応
- 対応の判断基準を準備中
 - 舗装の剥離、通行障害の有無、街路樹の枝落下、倒壊の危険、遊具の破損程度
- 「市民の自主的な解決で対応」と判断する場合を設定

● 手数料の改定

府中市の道路の図面のコピー代や道路に関する証明の手数料は、近隣市に対して安価です。



現在の手数料の料金を、今後適正に見直します。



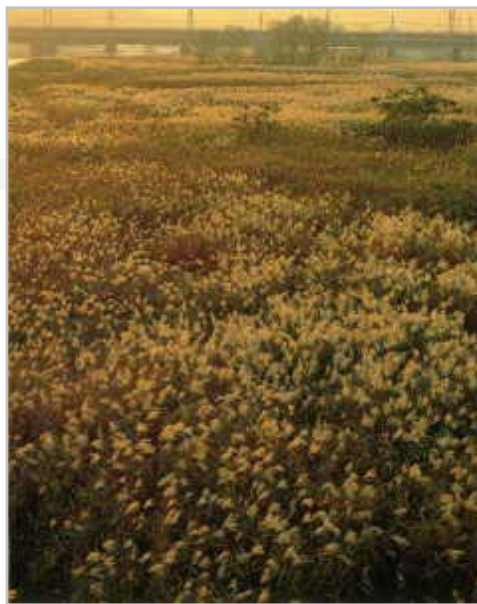
インフラの安全性を確保するために必要な資金を確保します。



① ほっとするね 緑の府中

府中市

ご清聴を感謝します



多摩川のオギ群



大国魂神社「五月例大祭」